



残暑はまだまだ続く中、子どもたちにとっての夏ならではの遊びを満喫できています。

白鹿から頂いた大きな木の桶にぶどうの棚から流れる手作りのシャワーの水が勢いよく落ちてきます。子どもたちは頭から水をかぶったり、みんなで桶の水を運び、桶がいっぱいになるとあふれた水が川になり、楽しい泥んこや水遊びに広がっていきました。子どもたちの「遊ぶ力」はどんどん発展していきます。コロナ渦で生活のスタイルが制約され、友達同士群れたり、触れ合ったりができなくなった今、思いっきり遊ばせてやりたい・・・から園庭遊びを充実できるよう工夫しています。プール遊びはできませんでしたが園庭での水遊びは9月も続けていきたいと思います。

そして恒例の「マスカット」も理事長のお世話の下、立派に育ちました。8月にはだいち・ひかりが一人ずつブドウ狩りを楽しめました。自分でどのブドウにするか選別し、ちょっと高い脚立に上りドキドキしながら取りました。おやつでは「自分が取ったブドウだよ」と自慢しながら口いっぱいほおばっていました。



先日、朝日新聞のコラムが目にとまりました。

五味太郎さんの言葉

～「心」っていう漢字って、バラバラしていいと思わない？～

心は乱れていて当たり前。存在がまとまらないから人は考える。

そしてよく考えるには「丈夫な頭と賢い体」が必要だ。

丈夫な体はつい働かされてしまうし、賢い頭は世の中と付き合いすぎる。

だから今は「きちんとさぼれる」賢さと「自分で考える」丈夫さを備えよ。といわれたそうです。

子どもの時期の「心」はまさにこの感覚であり、何度も心がバラバラになりその度に考える

考えるときにいろんな方向から切り込んでいく。失敗を失敗と感じずに

何度も何度も挑戦するには忍耐が要ります。しっかり足を地につけて・・・

子どもの遊びは、水があるから思わず頭からかぶってみる。風を感じながら走る。虫の不思議に出会う。

大人になる前に柔軟でいろんなことに対応できる頭脳を育てる・・・考える力

幼児期にはまさに柔軟な「心」。この感覚を大切に生活を見守っていききたいですね。

少し暑さも落ち着いてくる9月。子どもたちとともに「遊び」を深めてきた様子を運動発表会や個人懇談でお知らせしていきたいと思います。お仕事の都合をつけてくださった大切な時間ですので短時間ですが充実した運動発表会・懇談会の時間にしたいと計画しています。よろしくお願いします。

いつまでこの猛暑が続くのかと思う毎日ですが、子どもたちは体調を大きく崩すこともなく、食欲が落ちる心配もなく元気いっぱいの毎日を過ごしています。

元気の源、20～30分に1回の水分補給や朝、塩分補給のチーズを食べています。

「チーズあんまり好きじゃない」と言っている子どももみんなと食べるチーズだからか？

幼児クラスの朝のチーズタイムはソーシャルディスタンスを保ち、階段などに座り子ども同士、目で合図しながら、「せーの！」とでも言うかのようにパクっとおいしそうに頬張っています。この水分や、塩分補給で元気が保たれているのならうれしいですね。

朝夕は、保護者のみなさまの協力を得ながら、園庭側の門での送迎が中心となっています。帰る時の出来事ですが、お迎えの保護者の方が来られ、園内や園庭にいる子どもたちは自分の名前が呼ばれると「待っていました」と言わんばかりに帰る準備を始めます。めばえぐみの子どもの中にも自分の荷物を持つ子がいたり、ふたばぐみの子どもも靴下は自分で履こうとしたり、つぼみぐみになると、靴と荷物を同時に手に持ち、速やかに帰る準備までする子どもがいます。今までの送迎ではついつい幼児クラスになっても、大人が玄関で子どもに靴下や靴を履かしてしまうこともありましたが、子どもは何気ない瞬間に成長しています。何でも子どもにさせてほしいのではありませんが、「自分ですることのうれしさ」を感じたときに子は成長していきます。子どもも甘えなどでお家の人になんでもやってほしいときはあります。もちろん「やってほしいなー」と思う日はしっかりお世話や甘えを受容して「やってあげる」のメリハリは大切にしながら自立」を喜んでいきたいですね。さて、9月は幼児クラスの運動発表会や個別懇談が始まります。一人ひとりの成長を共に感じられるひと時を過ごしていきたいと思っています。

主幹保育教諭 藤森寿美

暑い毎日が続いていますが、園庭あそびの後にはシャワーを浴びて、すっきりと気持ち良さそうな表情が見られます。水路から流れてきた水に興味をもっためばえぐみ、水溜りにはいはいで向かい、手のひらや足の裏で、泥の感触を確かめているようでした。みるみるうちに服は泥でいっぱいになりましたが、めばえぐみにとっては全てが初めての体験であり、思い切り自然に触れ感じることで、五感の発達や興味関心に繋がっていくことと思います。

幼児さんのシャワーでは、頭を洗う時におじぎのポーズをしてもらっています。

頭を下げる意味で「こんにちは～」と保育者が声をかけるのですが、反射的に「こんにちは」と挨拶を返してくれる可愛い姿もありました。また、今年度は残念ながらプールあそびがなく、あそびやシャワーの中でも水に触れる機会を持てるよう意識して過ごしています。

濡れることに抵抗がある子どもも流れる水の行方に興味をもったり、水が凍る面白さを発見したり、全身水に濡れて水の心地よさや温度の変化を身体全体で感じる姿も見られました。

それぞれの形で“水”に触れたこの夏の経験が、子どもたちの心を育む一つのきっかけとなってくれればと思います。

主幹保育教諭 河本彩奈

## ～めばえぐみ～

ねらい：「いろいろなものに触れてあそぶ・風を感じる」

うた：「チョチチョチアワワ・幸せなら手を叩こう・どんぐりころころ」

雨が多かった7月でしたが、8月は日に日に気温が上がり、めばえも熱中症対策をして遊んでいます。めばえはこれまでより園庭に出る時間を少し早め、出来るだけ涼しい時間に外遊びを楽しみました。園庭に慣れてきた子ども達は大好きな水が出る場所をよく知っており、お兄さんたちに混ざって蛇口の水浴びをしたり、タライの水で全身びしょぬれになりながら、暑い夏を楽しみました。

また、お部屋の前の風がよく通る日陰のテラスでの泡遊びや、園内の探検なども取り入れ毎日元気に過ごしています。

## ～いっちに！いっちに！～

8月になり1歩、2歩…と少しずつ歩こうとするお友達が増えてきました。両手を持って「1、2！1、2！」と歩いていると、他のお友達もリズムに合わせ身体をゆらゆら！真似っこで歩き出す子でできました、リズムよく進み歩けることを楽しんでいます。自分から立って柵から手を離し、にこー！と微笑み歩きだします。その表情は“今から歩くから見てね！”“ぎゅって受け止めてくれるよね”と言っているかのような。子ども達からのわくわくと歩けるようになった喜びを感じます。満面の笑みで保育者のいるところまでに向かってきてくれる姿は、慣らし保育を経て信頼関係が出来てきたことを感じ、うれしくなりました。



また、しっかり歩く事が出来る様になった子ども達は坂道や階段よりもっと難しいものにも挑戦中です。湾曲しているバランス玩具では、上に立ってバランスを取る事に加え、自分で左右に重心を動かし、波乗りの様に揺れる事を楽しんでいます。子ども同士で刺激をたくさん受け、やりたい事・行きたい場所がどんどん増える子ども達と、更に楽しいこと、面白いことに取り組んでいきたいと思います。

## ～つめたーい！～

園庭で子ども達が水遊びを楽しんでいる姿から、暑い夏にぴったりの氷の感触遊びを取り入れてみました。冷たい氷に始めは“なあに？これ”と不思議そうな表情でしたが、触ってみるとビックリ！！その後は融けだした水に手を入れてみたり、隣のお友達に“こっちもどうぞ”と渡したりして楽しんでいました。



氷の中には、園庭に咲いている花やどんぐり・向日葵の花びらが入っており、氷が融け触れるようになると、興味深そうに引っ張ったり、つついたりしていました。テラスで行った事で、「あっ、〇〇くん触ってるよ」「気持ちいいのかな？」と、つぼみや幼児のお友達との関わりも持つことが出来ました。こんな時期ですが、密にならない様気をつけながら、かえで保育園の全員で育つ、異年齢での関りも大切にしていきたいと思います。

## “担任の思い”

遊びはもちろん、コップで水分補給をしたり、スプーンに挑戦してみたり、オムツ替えもうれしい時間に代わり、一人で布団に寝転がって入眠出来る様になったり…生活面でもどんどん出来ることが増えています。ある日突然「できたの！？」と、毎日の成長に驚くことばかりです。保護者の方へ園での様子を伝える時はもちろん、家庭でのお話を聞く事の出来る時間が楽しみでもあります。保育園生活にも慣れてきた子ども達と更に楽しいことに取り組める日々を楽しみにしています。

## ～ふたばぐみ～

ねらい：「いろいろなもの触れてみよう」「どうしたらできるかな」

う た：とんぼのめがね、まつぼっくり、くまさんくまさん、アシアシアヒル

まだまだ残暑が厳しいので熱中症予防のため、園庭に出る時間も少し短くなり、お部屋で過ごす時間が長くなりました。お部屋に入ると絵本を「読んで」と嬉しそうに持ってきてくれます。その中でも「ぺんぎんたいそう」「おばけなんてないさ」が毎日見ている、内容に合わせて身体を動かしたり、歌を歌ったりして楽しんでいました。また内容を覚えていて「つぎはぱたぱた」「ふりふり」とページをめくる前に教えてくれるので、機会があればお家でも同じ絵本を読んでみて下さい。

### 【野菜でぺったん】

園にある、野菜が日々大きくなるのをみて「トマト」「きゅうり」と野菜に興味を持ち始めました。「やさいでぺったん」の絵本を見ていろいろな野菜を見て「これはなに」と聞くと「たまねぎ」「じゃがいも」など名前を教えてください。そして絵本と同じように「ぺったん」をみんなでしました。大きな布に子ども達と一緒に野菜に絵の具で色を付けて「オクラ」「ピーマン」「人参」「たまねぎ」などたくさんの野菜をみて子ども達が自分で選び好きな色を付け、ぺたぺたと布に形がうつると楽しそうに何度も繰り返し楽しみました。野菜が同じでも、選ぶ色が違い布につけると様々な形ができて、こどもたち一人ひとりの個性を表しているようでした。

遊びで野菜に触れることで苦手な野菜を少しでも好きになってくれたらと思います。



### 【真似っこ】

お兄ちゃん、お姉ちゃんがしている遊びをみて真似をして、いろいろなことに挑戦しています。お兄ちゃん、お姉ちゃんが鉄棒をしているのを見ると手を伸ばしぶら下がり、できると嬉しそうに何回もしていました。また縄跳びを飛んでいるのを見ると縄を持ってきてお友達と二人で端とはしを持ち、回そうとしています。ですが、距離が近すぎてうまく回らず、ぐるぐると縄が絡まってしまうことに「なんでだろう」と不思議そうな子ども達しばらくすると電車の遊びに変わっていました。

縄跳びはできませんでしたが、お兄ちゃん、お姉ちゃんたちがしていることを真似してたくさんの遊びを自分たちで見つけて、やってみようと挑戦しています。その気持ちを大切に遊びが広がるように見守っています。



### “担任の思い”

生活の中でも自分で出来ることがたくさん増えてきました。食事の時には自分でスプーンを持って上手に食べたり、苦手な野菜も食べるようになってきました。「すごいね！お姉ちゃん、お兄ちゃんみたい」というと得意げな顔をしてぱくぱくとスプーンが進みます。また排泄ではオムツからパンツに移行しているお友だちやトイレに座り、出ると「でたよ」と教えてくれようになりました。これからどんどん自分で出来ることが増えてくると思います。子どもたちの「自分でやりたい」という気持ちを大切にしていきたいです。

## ～つぼみぐみ～

ねらい：「友だちと一緒に遊ぶことを喜び・会話をすることを楽しむ」

うた：「とんぼのめがね・なべなべ」

急に暑くなった8月ですが、子ども達は暑さに負けずに毎日元気一杯遊んでいます。真新しい赤白帽子を嬉しそうに被り、汗いっぱいになりながらも大好きな水遊びや泥あそび、最近は鉄棒にも挑戦してキラキラした笑顔を見せてくれます。あれもやってみたい、これは何？と様々なことに興味をもっている子ども達です。まだまだ暑い日が続きますがこれからもたくさんの遊びを経験し楽しんでいってほしいです。

### トマトっておいしいね！

春にみんなで植えたトマトの苗が夏になりたくさんの実を付けてくれました。毎日水をあげたり、赤ちゃんトマトを見つけたりと子ども達も大きくなることを楽しみにしていました。お部屋にはトマトの絵本がずらりと並び、子どもたちはすっかりトマトに夢中な様子でした。そして真っ赤になったトマトを見つけると「はやくたべよう！」「おいしそう！」と大喜び。その後みんなで収穫したトマトは小さく切ってご飯に並びました。「これつぼみさんのだよね・・・！？」とドキドキした表情にもどこか嬉しそうなお子

だちの姿がありました。そして味はもちろん「おいしい！！」と大絶賛！

その後もトマトジャムやピザを作り、みんなで美味しくいただきました。

初めは苦手だなと感じていた子も実際に触ったり料理をしたりする過程を

見る中で、自分から食べてみようと感じられたことはとても嬉しいです。今後も様々な経験の中で好きなものや興味を増やしていけたらと思います。



### みんなでいっしょに♪



毎朝のお集りが習慣になってきました。みんなで見る絵本も大好きなのですが最近ではもう一つ、手遊びが大好きです。先生の前に座ると「きょうは〇〇がいい」とリクエストが出てくるほどで、先生の真似をしながら口ずさんだり動作を真似したりして楽しんでいます。特にこの夏は「三ツ矢サイダー」という手遊びに夢中になり、今では歌も動作も完璧です！途中くねくねと身体を揺らす箇所や、最後のしゅっわ～！！と声を上げる箇所が一番のお気に入りのようで、友だち同士顔を見合わせながら楽しそうに歌う姿に毎朝微笑ましさを感じています。その他にも「さんまのひらき」や「お

おきくなったら何になる？」などリズムに乗って歌を歌うことが楽しくてしょうがない様子のお子

どもたち。これからも新しい手遊びをどんどん取り入れて楽しんでいきたいです。またお家でも是非一緒に手遊びを楽しんでみて下さい。きっと可愛らしい一面が見せてくれると思います。

### “担任の思い”

友だちと一緒に遊ぶことが「楽しい」と感じられるようになってきました。自分から「〇〇ちゃん一緒にあそぼ！」と誘い合う姿も多くなってきました。その一方で玩具の取り合いや自分の意志を思うように伝えられないことで友だちとトラブルになってしまうことも見られます。どうにかして相手に思いを伝えようとする姿に、つい手助けをしてあげたくなりますのですが、できるだけ子ども達の姿を見守り、自分で思いを伝える経験を大切にしています。また自分の意見だけでなく友だちの話も聞くことが出来るよう援助しています。こうして一つ問題を乗り越えた後の清々しい顔と、また友だちと一緒に楽しそうに遊ぶ姿・・・「ケンカするほど仲がいい」とはこのことだと日々痛感させられつつ微笑ましく感じます。

今井奈沙 小坂橋円香 尾崎美緒

## ～いぶき・ひかりぐみ～

ねらい：「友達と一緒にあそびを楽しむ」

う た：「手のひらを太陽に」「虫のこえ」

まだまだ暑い日が続いていますが、気づけばもう9月になりました。子どもたちは「暑い～、汗かいちゃった～」と話しながらも、園庭に出ると元気に走り回ったり、思いっきり水遊びを楽しんで過ごしています。セミの鳴き声が出てくると虫網と虫かごを持ち、友達と一緒に追いかけて捕まえることに夢中でした。子どもたちのセミへの興味は広がり、様々な種類や鳴き声を図鑑で調べたり、羽を虫眼鏡で観察をする姿がよく見られました。夏が過ぎ、またひとつ大きくなった子どもたちはこれからどんな成長が見られるのか楽しみです。

### ～水遊び～

今年はかえて保育園のプールに入れなくても、子どもたちは毎日のように水遊びを楽しんでいました。自分でシャワーの準備をしっかりと整え、「水遊び早くしたい!」「準備出来てるからもういいよね!」とわくわくして待ちきれない様子でした。じゃぶじゃぶ池ではポンプから水を流す子、樋を持ってきて繋げる子など、声



を掛け合い自然と分担しながら遊んでいます。樋を繋げるときは高さや傾斜をつけるために代わりにするものを探し出します。そんな水路作りから葉っぱを流して遊ぶ子や、流れた水で出来た泥で泥団子を作ったり、模造紙に泥の手形を付けたりすることを楽しむ



子もいました。たらいに溜めた水の中に入ると、ばしゃばしゃと水しぶきを上げたり、スプリンクラーで水を浴びたりとダイナミックに水遊びを楽しむ子も見られました。水を浴びた後は築山で寝転び「気持ちいい～」と日向ぼっこをしていました。水遊びを通して各場所で遊びが広がり、それぞれ興味のある遊びから異年齢の関わりが多く見られました。一緒に考え、共有し合うなかで友達と一緒に遊ぶことの楽しさを感じているようでした。



### ～虫のこえ～

今年もかえて保育園に鈴虫がやって来ました。いぶき組の子どもたちが「この虫何～?」と鳴き声を聞いて不思議そうに覗き込んでいると、傍にいたひかり組の子が「鈴虫だよ～」と教えてあげていました。綺麗な鳴き声が聞こえてくると自然と子どもたちが集まり、「今日もいっぱい鳴いてるね」と鈴虫の様子を気にしています。涼しさを感じる鳴き声に惹かれながら「もう秋だね～」と子どもの声から、季節の変わり目を感じているようでした。異年齢で栽培しているきゅうりが育つと自分たちが食べる楽しみだけでなく、「鈴虫にあげる!」と収穫出来ることを喜び、「食べるかな…」と観察しながらお世話することも楽しんでいます。秋でもたくさんの不思議や発見から共に考え、いろんな経験を増やしていきたいと思います。生き物を育てていく中で命の大切さにも気づいて欲しいなと思います。

### “担任の思い”

園庭では、縄跳びや逆上がりなどいろんなことに挑戦しようとする姿が見られます。どんどん難しいことにも挑戦しようとしている子どもたちは、出来るまで諦めることなく一生懸命に取り組んでいます。友達同士で応援し合う中で、出来た時の達成感や喜びから少しずつ自信に繋がって欲しいです。挑戦する気持ちや何度も繰り返し取り組める場を大切にしていきたいです。これから様々なことに取り組もうとする姿を楽しみに、出来た時は私も一緒に喜んで、わくわくしたりして一緒に分かち合いたいです。

山本 あかね

## ～はま・かぜ～

### “かおかおどんなかお”

みんな大好きな絵画あそび。月に数回ですが、毎回どんなことをするのだろうと楽しみにしているようです。

いざ絵画あそびが始まると、それまでお友達と話していても、ぐっと絵画の世界に吸い込まれていくようで、子ども達の目がキラキラ輝きます。

今回はペアのお友達の顔を描きました。面と向かうと少し恥ずかしい気持ちもあるようでしたが、「眉毛もあるし、お口もあるし…」といつも一緒に過ごしているからこそ、大切に描き進めていく姿が見られました。

顔の色までクレパスで一先懸命塗り込んでいましたが、鼻を描こうとしたときに、手が止まってしまったAちゃん。

「鼻は肌色でしょ？一先懸命塗ったから、肌色で描いても見えないの…」と困った様子。するとその姿をみただいち組のBちゃんが自分が描いた絵をAちゃんに見せてくれました。「こうやってオレンジで描いても、かわいいよ。」それを見たAちゃんは嬉しそうにオレンジで鼻を描き、完成すると満足そうに見せてくれました。普段の関わりがあるからこそ、自然と助け合ったり、頼ったりする関係ができていているように思います。完成した絵はギャラリーとして銀行に飾られるので、ぜひご覧になってくださいね。



### “いろっておもしろいね”

ジュース屋さんごっこが盛り上がり、園庭でも絵の具を混ぜて色水あそびをしました。少しの色の变化にも気付く子ども達は、一つひとつ味を決めていきながら、まるで研究者のように色を作っていきます。

いつも絵の具の色は赤と青と黄色の三原色を出していることが多いのですが、遊びを繰り返していくなかで、自然と色の混ざりを理解しているようで、最近ではいぶき組の子ども達でも「緑がほしいから、青と黄色を混ぜるよ。」と自分たちで色を混ぜ合わせていきます。また、色水だけでなく筆やローラーで絵の具遊びをしたり、紙すきをしたりと様々な体験を通して、色を楽しんでいます。これからも、様々なあそびを通して、色を楽しみ、自由に表現することをたくさん体験してほしいです。



### “担任の思い”

幼児クラスに入ったばかりの頃のいぶき組の子ども達は少し緊張している様子も見られましたが、最近では生活や遊びの中でだいち組やひかり組のお兄さん、お姉さんに頼ることや助けてもらうことを繰り返し、異年齢で過ごす空間が子どもたちにとって、少しずつ心地の良い環境になっているのではないかと感じられる出来事がたくさんあります。去年までは助けてもらっていたひかり組も今では、「だいちさんにしてもらわなくて、できるよ!」と自信がついてきたようで、何事も自分でやってみようとする姿が見られるようになってきました。これからどんな関わりが見られるのか楽しみです。

林 奈津美

## ～だいちぐみ～

ねらい：「友だちと力を合わせる喜びを感じる」「自分ができることに自信をもつ」

う た：「だいだいだいぼうけん」「風になりたい」

「〇〇くん虫のことよく知ってるよ」「〇〇ちゃんね、逆上がりできるようになったよ」など、面白いことを見つけると一緒に遊んだり、少しずつだいち組の中の関わりも広がってきています。友だちが頑張っている姿を見て感じたことや自分が得意なことを教え合う姿も見られるようになってきました。友達のいいところを素直に伝えたり、できたことを一緒に喜ぶ姿も見られます。様々な友だちとの関わりから、1つの目標に向かって一緒に考えたり、力を合わせることも経験できるよう考えています。一人ひとりがもっている素敵なところを認め合いながら、お互いにより自分が一生懸命頑張っていることに自信をもつことができるような関わりも増やしていきたいです。

### “応援のちから”

先月から盛り上がってきた縄跳びや鉄棒に加え、フラフープ回しや跳び箱を練習する姿がより増えてきました。

縄跳びでは跳びながら自分が回ったり、鉄棒ではいろんな技を組み合わせています。「こんなことできるかな？」と子ども同士で工夫しています。頑張ったことを見てもらうことの嬉しさを



より感じてほしいと思い、はま、かぜグループに分かれてお互いが挑戦する様子を見る機会をつくりました。逆上がりに挑戦する様子を見て「できるよ」



「諦めないで」と自然と声援が聞こえてくるようになりました。誰かが見て

くれていること、応援してくれることの嬉しさやできたことの達成感をクラス全体で感じた瞬間でもありました。サーキット終わり、みんなで片付けをする中「すごい！跳び箱できるようになってたね」「頑張れって応援してたの聞こえてたよ」「嬉しかったな」と照れながらも顔を見合わせて笑い合う子もいました。1人ひとりが取り組む姿を声援を送ることでより自分自身の力になることをこれから感じてほしいと思います。

### “担任の想い”

今までの運動発表会を思い出しながらどんな事ができるか、みんなで話し合いが進んでいる真っ最中です。話し合いの序盤は、一生懸命頑張っているところを見てもらいたい気持ちと本当にできるか不安を感じる子もいました。「縄跳び上手になってるよ」「こんなのもいいんじゃない？」「やってみないとわからないよ」と前向きな言葉が聞こえるようになってからは『みんなで』出来ることも考えながら案を出し合っています。

保育園最後の運動会。自分ができること、うまくいなくても力を合わせてくれる仲間とできることの嬉しさを感じてほしいと思います。「一生懸命頑張っているところをお家の人にみてほしい」と子どもたちからも話が出ました。保育園で過ごし、だいち組まで大きく成長したことと共に“今”頑張っていることに自信をもって表現できるような機会になってくれればと思います。

日笠 加菜

## ～先生コーナー

少し前になりますが、実家に帰る機会がありました。新型コロナウイルスの影響もあり、伸び伸びと、とはいきませんが、お正月ぶりに家族がそろい元気な顔を見ることができ一安心しました。

みんなで過ごしているうちに昔の話になり、20年程前のビデオテープの存在を思い出しました。押し入れを探してみると、カセットをセットするハンディカメラが見つかりました。「まだ映るかな？」「壊れていないかな？」と不安になりながら四苦八苦しテレビに繋いでみると…止まったり途切れることなく綺麗に映し出されました。動画の中には、お雛様の前でひなまつりの歌を延々一番だけ歌い続ける姿や、誕生日ケーキのろうそくを真ん中の妹に吹き消されて大号泣する姿、一番下の妹が産まれみんなで宮参りに行く様子…たくさんの思い出が残っていました。

自分の小さなころの姿を見るのは恥ずかしさもありますが、懐かしくてとても嬉しい気持ちになりました。でも、一番うれしかったのは両親や叔父、祖父母などの姿や声が聴けたことです。大人になると、自分の事を撮られると避けがちになってしまいますが、何十年後の楽しみとして残していくのもいいなあと感じました。保護者の方もぜひ、お子様と一緒に家族の方の様子も撮影してみてもいかがでしょうか？

立田 瑛怜菜

## 保護者の方からのおはなしコーナー

おしゃべりが上手になり、毎日保育園であったことをたくさん話してくれます。今日は初めて聞く歌を歌ってくれたので「上手だね！もう1回歌って！」とお願いすると「うーん、ちゆかれちゃったからうたわない！」と笑わせてくれました。

これからもいっぱい笑って大きくなってね！

つぼみ組 ゆうこさん

ひかりさんになり、急にお友達の名前が沢山出てくるようになり、送迎の際も色んな子に挨拶をしている姿を見て、今まで自分が上のお兄ちゃん・お姉ちゃんにしてもらって来た事が出来るようになったんだなあと感じました。沢山のいい経験が出来る事に感謝します。

ひかり組 ゆきさん

この夏すっかり虫がだいすきになりました。毎日、かぶとむしやくわがたむし、せみの折り紙で遊んでいます。

園で作って頂いたせみを持って帰ったら、「みてみて、くませみだよ」ってお家にある「おともだち」とさっそく遊び始めました。

いぶき組 みょうこんさん

保育園に行きはじめてから、歌やダンスをたくさん披露してくれるようになりました。

お盆期間中では、お友達の赤ちゃんに興味津々で泣いた時はよしよししたり、ぎゅーっと抱きしめたり、まだまだ赤ちゃんだと思っていたのですが、お姉さんの一面も見られました。楽しく園での生活を送っているんだろうな〜と微笑ましくなります。

ふたば組 まりなさん

今年にはいってから、少しずつ話せる様になってきた娘です。ごはんの事を“まんま、ごはん”と言ったり母のことも“ママ”と言ったりもしますが、父も“ママ”おばあちゃんのこと“ママ”です。

スーパーに行くとき知らない人にも言ったりしないか少しハラハラしている毎日です。

ふたば組 まりさん

お迎えに行くと、いつもお兄ちゃん、お姉ちゃんと遊んでいて、本当に嬉しそうな息子。みんなとっても優しく、外出先でバツリ会った時もお名前を呼んでくれます。これからも沢山の遊びを学んで大きくなって欲しいです。

つぼみ組 あやかさん

日に日におしゃべりが上手になり、「今日〇〇先生が〇〇してくれた！」と「〇〇ちゃんと遊んだ！」など保育園での出来事を教えてくれるようになりました。

時には「ハイおむつ替えますよ〜」「ケガしたの？事務所でシール貼ってもらおうね〜」など、先生の真似もして、家族を楽しませてくれます。

ふたば組 ゆうこさん

保育園での出来事をあまり教えてくれない息子が、たまに教えてくれるのは「ひみつの時間」のことで「だいち以外にはナイショ」と言って特別なことを目をキラキラさせながら話している息子はとても嬉しそうでした。

だいち組 けいこさん

## ☆お台所より☆

お盆期間でお休みしていた子どもたちも元気に登園し、保育園の中はいつもの活気が戻りました。さて、これからは実りの秋。あつい夏のケアと、元気いっぱい過ごせるように、旬の食材をたくさん取り入れたおいしいごはん・おやつを作っていきます。

また、9月も特に衛生管理・食中毒に気をつけて、子どもたちと旬の食材に多く触れ、様々な食育活動をおこなっていきたいと考えています。

### ～8月の食育活動の様子～

幼児さんにとうもろこしの皮むきをしてもらいました。少し固い皮も一所懸命むいてくれて、とうもろこしが見えると「うわぁ！！」と言って嬉しそうな顔を見せてくれました。「ひげがあったよ！」「バナナみたいだった！」と話してくれる子もいました。



みんながむいてくれたとうもろこしは、おやつに『焼きとうもろこし』として出しました。カウンターにホットプレートを出し、食べる直前に再度焼き、あったかいものを提供しました。「甘いね！」「これ朝むいたの？」と言って、満面の笑みで美味しそうにほおばっている姿が印象的でした。

### ～9月に予定している食育活動～

- ・かぼちゃの種とり
- ・えだまめのさや取り（いぶき）
- ・とうもろこしの皮むき（ひかり）
- ・冬瓜に触れてみよう！

### ～9月の献立で使用する食材～

さつまいも	かぼちゃ	なす	はくさい
しめじ	エリンギ	まいたけ	オクラ
冬瓜	梨	ぶどう	マスカット (園で収穫)

### ～8月 誕生日会メニュー～

今月の誕生日会では、久しぶりのチキンカツでした。誕生日ケーキは、デコボンと今年初のメロンをのせたケーキにしました。甘いメロンに大興奮で今月も好評でした。





• 下記の日程で保育実習を感染症対策を行いながら受け入れます。

* 8/31~9/10	神戸常盤大学	3名
9/1~11	関西学院大学	2名
9/7~17	甲子園短期大学	1名

## こんなことしたよ♪

園庭で大きく育ったマスカットを収穫しました。砂場から見上げて「まだたべれないかな」と楽しみに待っていた子どもたち。今日、ブドウ狩りするよ！の声掛けに「やった〜」とブドウ狩りを楽しみました。ぶどうはその日のおやつで食べました。甘くておいしいマスカットに大満足の様子でした。今月のケーキにも！！



～絵画活動～

今年度も9月1日～30日まで西宮の三井住友銀行のギャラリーにお子さま全員の作品が掲示されます。

今年のテーマは

【かがやけ！かえでのこどもたち！！】  
で楽しい作品となりました。  
是非・ご家族で見に行ってください。



## ★お願い★

• 体調管理をしてください。  
衛生管理に努め、丁寧に消毒等を行っていますが新型コロナウイルスの終息はまだです。お子様の発熱・体調不良の場合保育はできません。登園時の検温でも微熱があった場合もお迎えを要請します。ご理解、ご了承ください。また、解熱しても2～3日はご家庭で様子を見ていただき無理をして登園することは避けてください。

- 着替え等は持ち帰った分を翌日持ってきて頂くようご準備ください
- 毎日体拭きタオルを持ってきてください。袋、タオルに名前を書いてください。
- 引き続き熱中症対策として、全園児毎朝一口サイズのチーズを食べ塩分補給をします。
- 幼児パンツの貸し出しはありません。不足の時は買い取りとなります。次月の諸費で請求させていただきます。(1枚250円です)



### 9月予定

- 1日(火) 耳鼻科健診(目視のみ)
- 7日(月) 絵画
- 11日(金) 人形劇クラルテ
- 14日(月) 懇談会開始・月例健診
- 16日(水) 誕生会
- 18日(金) 絵画
- 26日(土) 運動発表会  
(いぶき・ひかり・だいち)
- 30日(水) 消防署立ち合い訓練
- 3・10・17・24日(木) 体操

### 10月予定

- 10月17日(土)  
お手紙でお知らせしています。  
だいちお泊り保育(日帰り)のため土曜日保育はありません。ご協力をお願いします。